

みんなちがって、みんないい

『未来の子供達への取り組み』～医療的ケア児～

こんにちは。管理者の藤崎です。すっかり初秋の季節となりましたね。朝夕の寒暖差に、体調崩していませんか？

コロナウイルスの影響にて、のびのびになっていたのですが、先日、令和1年度の医療的ケア児等コーディネーター養成研修を看護師2名が終了しました。

『医療的ケア児』という言葉、聞いたことありますか？簡単に言えば、医療的なケアを必要とする児を『医療的ケア児』と呼びます。

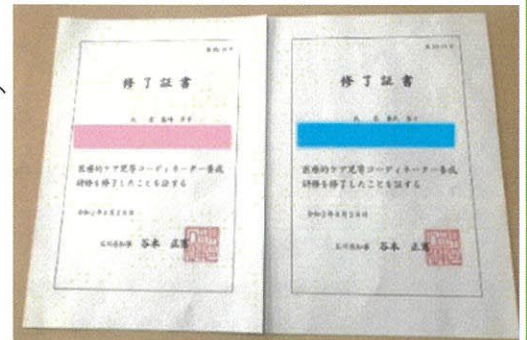
医療技術の進歩等に伴い、集中治療室に長期入院されていたものの、成長発達とともに何かしらの医療行為(酸素吸入、経管栄養、吸引など)の手助けは必要であっても、自宅へ退院することが出来るようになりました。

そのような子供達を、生まれてから、もしくは生まれる前から、地域で支援して行くための取り組みが国として本格的に始動されたのが、この医療的ケア児等コーディネーターの養成です。

私的に思ったのは、介護の世界では、ケアマネージャー(介護専門支援員)が支援のサービスをコーディネートしていますが、その子供バージョンって感じでしょうか。医療的ケア児も、みんなみんな大切な子供達です。社会の宝物です。

医療的ケアを必要とする子供達も、ゆっくりではあっても成長発達していきます。その成長発達を促し見守り、共に沢山悩み頑張っているご家族の支援を行っていきたいと思います。そして、忘れてはならないのが、私達大人が、未来をみて生活していくことだと思います。

みんなで笑顔「木のおうち」には、児童発達支援、放課後等デイサービスがあります。医療的ケア児の受け入れをしており、訪問看護リハビリステーションと連携しています。



こんにちは。理学療法士の横川です。

私からは小児に対するリハビリについてお話ししたいと思います。小児に対するリハビリというのはなかなかイメージしづらいと思うのですが、生まれつきの病気や事故などで運動発達に遅れがあったり、身体の動きに不自由さがあるお子様に対して運動発達を促したり、成長に伴って生じるかもしれない変形や痛みの予防などを行います。例えば運動発達の遅れでお座りがなかなかできないお子様に、お座りができるようアプローチしたり、麻痺があり筋肉がこわばりやすいお子様に、関節が硬くならないように関節を動かす運動をしたりします。大人のリハビリと同様に「できる!」を一つ一つ増やしていく作業です! 私たちの訪問看護でのリハビリでも対象のお子様の「できる!」を増やしていき、成長のお手伝いが少しでもできれば嬉しいと思います!



【年末年始休業のお知らせ】

誠に勝手ながら、下記の通り休業とさせていただきますので、よろしくお願い致します。なお緊急訪問など、必要な場合には下記休業にかかわらず対応いたします。

2020年 12月29日(火) ~ 2021年 1月3日(日)

